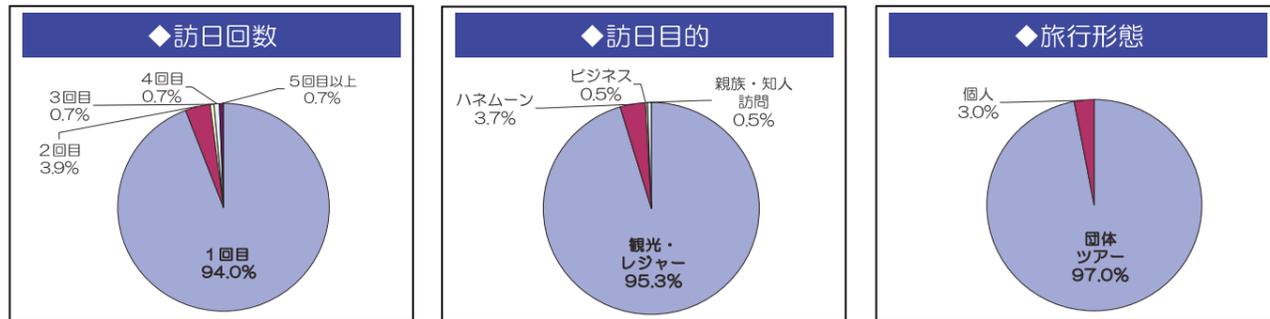


中国人利用者の動向 ～アンケート調査結果に基づく分析～

○中国人利用者の特徴

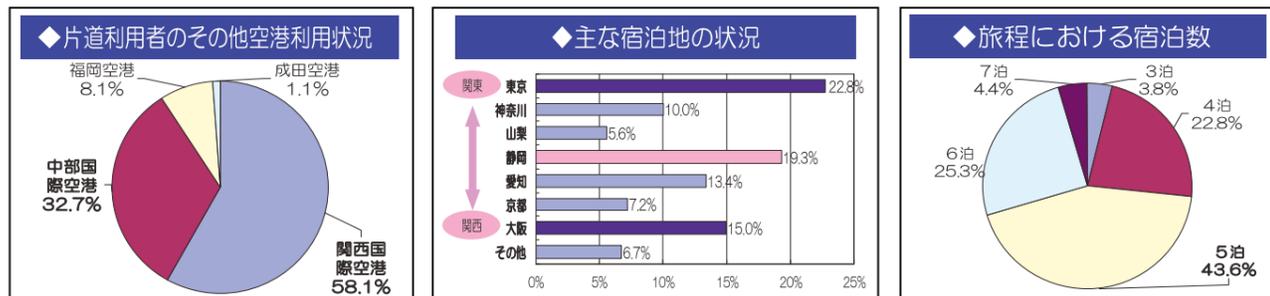


●初来日の方の割合が高い

●観光・レジャー目的の割合が高い

●団体ツアーの割合が高い

○富士山静岡空港の利用状況及び滞在中の宿泊状況



●富士山静岡空港の往復利用者率は**16.6%**
●片道利用者の**90.8%**は関西国際空港又は中部国際空港を利用

●東京～大阪のルート上の都府県に宿泊が集中
※富士山静岡空港利用者のうち、県内に宿泊していない人の割合を勘案し、調整している。

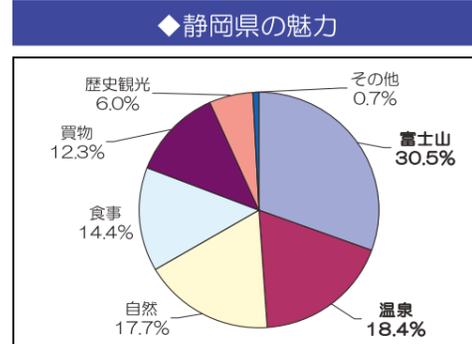
●平均宿泊数は**4.9泊**、そのうち県内宿泊数は**1.0泊**

富士山静岡空港は、ゴールデンルートを巡る際の首都圏空港の一翼を担っています！

富士山静岡空港を利用する中国人は、東京～大阪を結ぶ代表的な観光旅程であるゴールデンルートで巡っているケースが多く、世界遺産「富士山」に最も近く、ルート上に位置する利便性の高い富士山静岡空港が選ばれ、中国路線の新規就航につながっています。

○静岡県の魅力と次回来訪希望

●静岡県に魅力を感じ、次回来日時に静岡県を訪問してみたいと考えている人の割合(**91.5%**)が高い



次回来日時に静岡県が訪問先に選ばれるように、魅力発信を強化し、県内滞在日数の増加につなげることで、更なる経済波及効果の拡大が期待できます。

富士山静岡空港

経済波及効果

中国路線が拡大した開港6年目は…



312億4千万円

開港6年間（累計）で1,392億2千万円

	企業・産業への効果 (生産誘発効果)	家計への効果 (雇用創出効果)	行政への効果 (税収効果)
1年目 H21.6.4～H22.6.3	245.5億円	1,653人	16.9億円
2年目 H22.6.4～H23.6.3	207.6億円	1,398人	14.3億円
3年目 H23.6.4～H24.6.3	188.6億円	1,270人	13.0億円
4年目 H24.6.4～H25.6.3	217.9億円	1,493人	14.3億円
5年目 H25.6.4～H26.6.3	220.2億円	1,529人	14.8億円
6年目 H26.6.4～H27.6.3	312.4億円	2,150人	21.4億円
計	1,392.2億円	9,493人	94.7億円

家計への効果（6年目）

雇用創出効果 **2,150人**

雇用者所得誘発効果 **78.4億円**

(雇われている人(サラリーマン)などが働いて受け取る給与などの総額)

行政への効果（6年目）

国税 **9.5億円**
県税 **6.2億円**
市町税 **5.7億円** } 計 **21.4億円**

国 税：所得税・法人税・消費税他
県 税：県民税・事業税他
市町税：市町村民税・固定資産税他

開港6年目のアウトバウンド・インバウンド別経済波及効果

(単位：億円)

項目	※1 アウトバウンド		※2 インバウンド				見学・送迎者	空港関係 事業費	総計
	日本人送客		日本人誘客	外国人誘客					
	(国内)	(海外)		(中国路線)	(ソウル線)	(台北線)			
利用者数	20.8万人	5.3万人	99万人	16.7万人	3.1万人	2.9万人	(69.9万人)	-	58.7万人
※3 県内最終需要増加	32.5	17.5	34.2	67.8	11.1	10.7	19.4	12.3	205.4
※4 直接効果	29.4	14.0	31.5	50.8	9.6	9.9	13.8	12.3	171.1
※5 間接波及効果	24.5	10.1	23.6	48.2	7.3	8.5	10.2	8.9	141.3
※6 生産誘発効果	53.9	24.1	55.0	99.0	16.9	18.4	23.9	21.2	312.4
構成比(%)	17.3	7.7	17.6	31.7	5.4	5.9	7.7	6.8	100.0

注) 四捨五入のため、内訳の計が総計に一致しないことがあります。

※1 アウトバウンド…富士山静岡空港から出発する人々

※2 インバウンド…他空港から富士山静岡空港(静岡県等)を訪れた人々

※3 県内最終需要増加…富士山静岡空港利用者、見学者等の県内での総支出額。今回の推計では、中国人利用者が支出する金額や品目を把握するため、平成27年9月に中国人利用者が宿泊している県内ホテルにおいてアンケート調査を実施

※4 直接効果…※3で生じた県内最終需要(消費)増のうち、県内で生産された生産額

※5 間接波及効果…直接効果として生じた生産の原材料をまかなうために、次々と誘発される生産額と生産増によって生じた雇用者所得の増加が、消費に向かうことによって誘発される生産額を含めた額

※6 生産誘発効果…経済波及効果のことで、直接効果と間接波及効果を合算した額

中国路線に係る経済波及効果分析 ~前回推計(4年目)との比較~

空港のもたらす経済波及効果は、空港の「利用者数」に「1人当たり消費額」を乗じて算出した最終需要額を起点として推計するため、この2つの要素の伸びが大きい中国路線の経済波及効果は拡大しました。

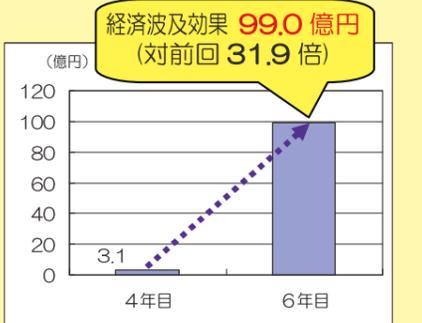
中国人利用者数



中国人利用者の消費額

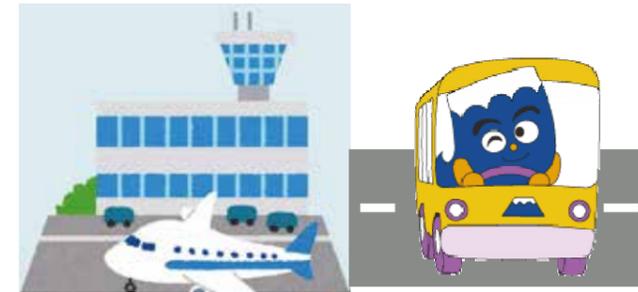


中国路線に係る経済波及効果



県内経済への貢献(代表事例)【開港6年目(1年間の効果)】

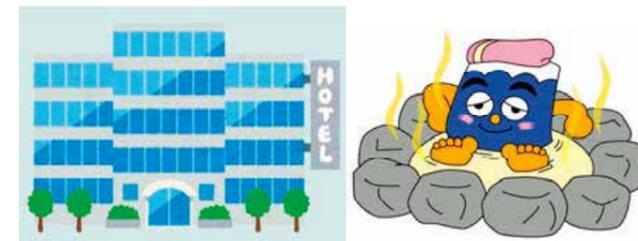
観光などで県内を移動すると・・・



県内バス・タクシー会社や
ガソリンスタンドなどに
約5億6千万円の収入
(1人当たり1,890円の支出)
間接効果を含む経済波及効果は・・・

約8億6千万円

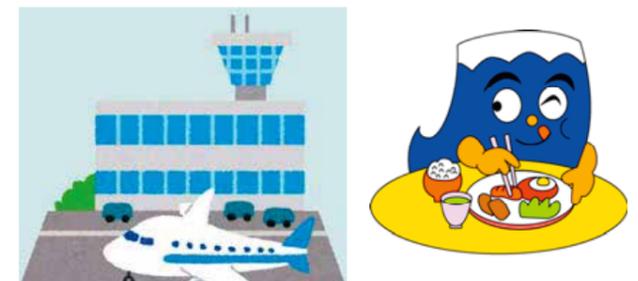
富士山静岡空港利用者が県内各地に宿泊すると・・・



県内宿泊施設に
約19億2千万円の収入
(1人当たり11,731円の支出)
間接効果を含む経済波及効果は・・・

約37億4千万円

富士山静岡空港に見学や送迎に訪れると・・・



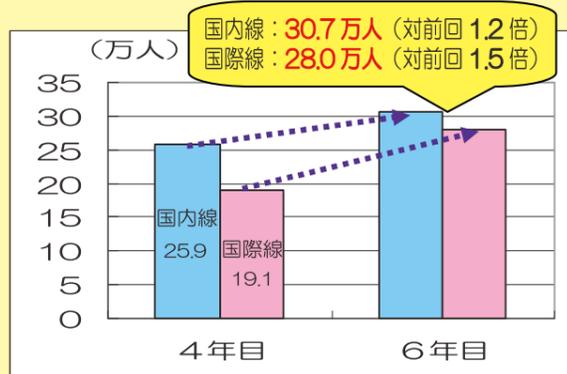
空港内の売店や飲食店に
約6億7千万円の収入
(1人当たり954円の支出)
間接効果を含む経済波及効果は・・・

約8億4千万円

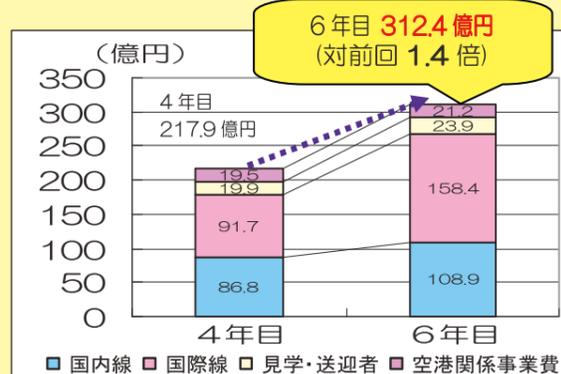
開港6年目の経済波及効果分析 ~前回推計(4年目)との比較~

国内線利用者数の堅調な伸びに加え、中国路線の拡大に伴い国際線利用者数が大幅に増加したことにより、経済波及効果は前回推計の1.4倍に拡大しました。

利用者数の比較



経済波及効果の比較



平成26年度富士山静岡空港外国人入出国者数: **約19万1千人 全国第8位! 地方管理空港の中では全国1位!**

経済波及効果とは?

富士山静岡空港に見学に来た方が、ターミナルビル内でお茶を購入しました。お茶を販売した売店(商業)の売上げが増えますが、売上げや生産が増えるのは売店だけではありません。商品のお茶を工場からターミナルビルまで運ぶ運送会社(輸送業)や、お茶の工場(製造業)の生産も増えます。さらにお茶の工場の原材料の茶葉を作る農家(農業)や包装容器を作る工場(製造業)の生産も誘発します。

このように何らかの消費需要や投資需要があったとき、その需要をまかなうための生産が誘発され、さらにその生産に必要な原材料が生産され、次々と生産が生産を呼んでいく産業の生産が誘発される効果を生産誘発効果(経済波及効果)と呼びます。

